

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22 年 5 月 2 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2774201798		
法人名	社会福祉法人 親和会		
事業所名	グループホーム 末広		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	茨木市庄二丁目5番1号		
自己評価作成日	平成 22 年 4 月 5 日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	〒546-0035 大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22 年 4 月 23 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当事業所は、「大家族、ゆっくり、いっしょに、楽しい、暮らし」の理念の下、グループホームの特色を生かし、入居者様と出来ることは一緒にさせていただくことを職員共通の理解とし、入居者様の生活を職員が支援しています。入居者様に日常の中で役割を持って生活を送っていただき、出来ることは、ご本人様にさせていただくことが、ご本人様にとって、ADL向上につながり、さらに、認知症の進行の緩和にもつながると考えています。

入居者様には、いろいろな季節の行事に参加していただいたり、敷地内に畑を設けて、農作物の収穫などを通して、季節感を味わっていただくように心掛けています。近隣の公園への散歩やスーパー等への買い物や地域の行事への参加など、外出の機会も多く設け、筋力向上や地域との接点を持つように取り組んでいます。

また、社協に登録されているボランティアの方や入居者様の知人様や近隣の地域の方に来ていただいたり、福祉系の高校やヘルパーの養成校からのヘルパー2級の実習生の受け入れを行う中で、入居者様との交流を通して、認知症の方のことについての理解を深めていただけるように、取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

創設者は、ホームの社会的役割を深く認識し、てスタッフ自身が意欲的に働けるような環境づくりを実施している。

ホームは昭和47年に設立した社会福祉法人 親和会が、茨木市内で多数の福祉事業を展開している福祉関係施設のうちのひとつで、ホームは設立後、今年の秋で6年目になります。当初からの管理者を始めとして、経験豊かな職員6名が中心となり、安定した介護を進めている。

家族会を、毎月一回、午後に開催し、利用者、ご家族、及び職員で話し合いをしながら、楽しい時間を過ごしていただいています。

所在地は阪急 総持寺駅から歩いて約5分で、静かな住宅地の一角にあります。木造1階建ですが、スプリンクラーは設置済み、共用室、廊下などは広くゆったりとした雰囲気があり、心が落ち着きます。

事業所名 グループホーム末広 評価機関名 特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価		
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「大家族、ゆっくり、いっしょに、楽しい、暮らし」を理念に掲げ、それを具現化して現場で実践出来るように取り組んでいる	経営方針は、毎月第1土曜日9時から職員全員との会議で理念、方針等の確認と連絡事項の話し合いが行われている		
		○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	自治会に所属して、地域の行事や地区清掃などに参加させていただき、交流を深めるように取り組んでいる	地元の諸会議、行事等に参加し、道路清掃、夏祭り等に参加している		
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域のボランティアの受け入れ、地域の人たちをホームの行事に招くことで認知症の方の理解等を深めるように支援している			
		○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で外部評価、実地指導等の結果報告及び説明行い、意見をいただくように取り組んでいる	計画通り2ヶ月に1回開催され、ホームから諸活動の報告と、出席されている各委員さんからの質疑応答、及び情報提供が行われている		
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	用事の際には、顔を出すようにして、そこで情報交換を行うようにしている。また、市から派遣される介護相談員と連携を図るように取り組んでいる	市役所には書類の提出時に持参し、ご担当者とは、その都度、情報の交換をしている		
		○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	外部、内部研修の実施事業所の理念の中に身体拘束の廃止を含めており、実践している日中は、玄関は開錠している	職員の見守りの方法を徹底し、また1人ひとり、その気分や兆候をきめ細かくキャッチすることで、玄関の鍵を掛けずに自由な暮らしを支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底	外部、内部研修の実施		
		管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている			
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用	外部、内部研修の実施		
		管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している			
9		○ 契約に関する説明と納得	契約、解約時には、管理者が説明を行い、疑問点を尋ねながら、懇切、丁寧に説明を行っている		
		契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映	意見箱の設置。 家族会でのご家族様と入居者様との個別面談を月に1回実施している	月1回午後に家族会を開催し、個々のご家族とも懇談し、お聞きしたご希望やご意見を役立たせている	
		利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映	月1回のスタッフミーティング、週1回の事業所連絡会などで意見を反映している	職員間の意見、提案等は、週1回の事務職員を含めた連絡会で話し合っている	
		代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、それらを反映させている			
12		○ 就業環境の整備	職員各自に努力目標を立てさせ、モチベーションの維持を図っている。介護職員全体の給料処遇改善		
		代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている			
13		○ 職員を育てる取り組み	外部、内部研修の実施。月1回のスタッフミーティングでの定例学習会を実施している		
		代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○ 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設連絡部会等へ参加して、意見交換等を行い交流を図っている		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○ 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	訪問調査、施設見学、個別面談を通して、信頼関係作りに努めている		
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	訪問調査、施設見学、個別面談を通して、信頼関係作りに努めている		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず、相談を受け入れ、よく話を聞いた上で事業所の説明、他の事業所の説明を行い、その他、必要なサービス等についての情報提供をしていく		
18		○ 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	当ホームでは、出来る限り、入居者様と職員で協力して行うことを旨とし、互いに対等な関係を保てるように努めている		
19		○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会や行事、外出の機会を通して、入居者様とご家族様と職員で支援をしている。また、当ホームに来所が困難なご家族様には末広通信やホームページを利用して必要な情報をお伝えしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限り、入居者様がこれまで使用してきたもの等を引き続き使用していただくようにしている。 また、入居者様の知人様の訪問も受け入れている	馴染みの方々との交流については、出来る限りの、お手伝いをしている	
21		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホーム内でお互いに役割を持っていただくことで、作業等を協力して行えるように支援している		
22		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も、一度は、訪問して様子をうかがうようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○ 思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	当ホームでは、これまでの生活を基盤にして生活を継続出来るように支援をしている。 さらに、必要に応じて再アセスメントも実施している	職員は、出来るだけ一人ひとりに寄り添って話し合いをするように心掛けており、少しずつ効果も出て来ている	
24		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者様、ご家族様からの情報を基にして入居者様の生活歴の把握に努めている		
25		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている	起床、就寝に関しては希望に添えるように取り組んでいる。趣味を考慮したレクなどへの参加を呼び掛けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○ チームでつくる介護計画とモニタリング	ケアカンファレンスを通して、入居者様、ご家族様、管理者、計画作成担当者、担当介護職員で話し合っている	職員一人ひとりのモニタリングを、チームでの話し合いで総合し、今後の計画に活用している	
		本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している			
27		○ 個別の記録と実践への反映	介護職員はケアの中で気づいたことを記録するようにひとり一人心掛けている。内部研修の実施		
		日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	希望があれば、個別送迎などで、外出に出かけて、買い物などをしていただくようにしている		
		本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○ 地域資源との協働	社協のボランティアセンターを通してボランティアの方に来ていただき、交流を図り、楽しんでいる		
		一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	11	○ かかりつけ医の受診診断	受診は出来る限り、入居者様がこれまで通院されていた病院の主治医の下で、受診出来るようにご家族様の協力を得ながら、支援をしている	本人やご家族が希望する医師が、かかりつけ医となっている。また、受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している	
		受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○ 介護職員との協働	近隣の診療所の医師、看護師に適宜相談をしている		
		介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○ 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院先の病院の医師、看護師等と連携を図りながら、必要な情報があれば提供するようにしている。 また、退院の際は、入院中のご本人様の情報を聞いて、退院に備えて情報を提供していたくようにしている		
33	12	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態に応じ、入居者様、ご家族様の思い、医師の見解を確認しながら、話し合い等により支援の方法を決定している	現在までお一人の看取りを行っており、職員に対しては重度化、看取りの話し合いの研修を適宜、実施している	
34		○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署職員による普通救命講習とAED講習を実施している		
35	13	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている	毎月、いろいろなテーマでの避難訓練を実施。年2回、消防署職員立ち会いの下、消防訓練を実施	消防署員との立会い訓練を年2回、行なっている。炊事はH I 方式で建物内で火器の使用はない	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている	外部、内部研修の実施	言葉遣い、人権問題については、研修会の出席者よりの報告で、その都度、実施している	
37		○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援 日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が自己決定出来る範囲で尊重して、行事、企画、レクレーション、外出などを支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし	出来る限り、入居者様のニーズを尊重するように心掛けているものの、希望に添えていない部分もある		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している			
39		○ 身だしなみやおしゃれの支援	出来るだけ馴染みのある美容院等へ行っていただけるように、ご家族様をお願いしている		
		その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している			
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事については、それぞれ役割を持って、調理、準備、片付けを職員と一緒に実施している	朝食は職員による調理で、昼食と夕食は業者による調理。盛り付けは職員により個人毎に配慮されており、体重検査も出来ている	
41		○ 栄養摂取や水分確保の支援	水分記録の実施。 水分を取りやすいようにオプションを増やしている。 栄養管理は、食材会社の栄養士の方がされている		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
42		○ 口腔内の清潔保持	口腔ケアの実施。 週1回の歯科往診の実施。 夜間は、義歯を消毒実施		
		口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている			
43	16	○ 排泄の自立支援	適切なトイレ誘導により、出来るだけ入居者様が望まれる排泄の方法で出来るように介助等を行っている	排泄チェック表を使用し、尿意のない利用者にも時間を見計らって誘導することにより、トイレで排泄できるように支援している	
		排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている			
44		○ 便秘の予防と対応	レクリエーションで体操をしたり、天気の良い日には、散歩に出かけたりと、出来るだけ体を動かしていただくことで便秘の予防を図っている		
		便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○ 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間については、出来る限り、入居者様の希望に添えるように取り組んでいる	出来る限り入浴時間は要望に沿えるように配慮されている	
46		○ 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも、臥床、休息が必要であれば、随時、居室等で休んでもらっている		
47		○ 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	入居者様のお薬を当ホームで預かり、職員がセットすることで、全職員が理解出来るように配慮している		
48		○ 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る限り入居者様が望まれるレクリエーション、外出、企画、行事を実施して支援している		
49	18	○ 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来るだけ入居者様の希望に添って、買い物、散歩、地域の行事等への参加など外出の機会を設けている。外出先の希望も聞くようにしている	季節に合わせて、一人ひとりの習慣や楽しみ事に合わせ、積極的に外出している	
50		○ お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	事務所で入居者様の所持金を預かり、必要に応じて買い物などに出かけて、使用していただくようにしている。使用された金額、残高をつけて管理している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している	年賀状や暑中見舞いをご家族様や知人様に出されている。必要に応じて、事務所の電話を使用いただいている		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている	カレンダーや季節ごとの行事の写真の掲示や季節に応じた飾り付けなどで季節感を少しでも実感出来るように配慮している	明るい洋室風の共用空間で、職員との共同の作品等を掲示している。又、建物周辺の空地を利用して、花や季節の野菜の栽培を楽しんでおられる	
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングに和室があり、馴染みのある入居者様同士もしくは一人で過ごしていただく場としている		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	出来る限り、入居者様がこれまで使い慣れていた品々を使用している。職員にただけるように配慮している	利用者、一人ひとりが個室を自由にお使いになっている。職員による週1度のシーツ交換時には清掃も実施している	
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車いす用のトイレ、浴室、廊下、居室のベッドに手すり等を設置		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		① ほぼ全ての利用者の
		○	② 利用者の2/3くらいの
			③ 利用者の1/3くらいの
			④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		① 毎日ある
		○	② 数日に1回程度ある
			③ たまにある
			④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている		① ほぼ全ての利用者が
		○	② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている		① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
		○	③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
		○	③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
		○	③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
		○	③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができています		① ほぼ全ての家族と
			② 家族の2/3くらいと
		○	③ 家族の1/3くらいと
			④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		① ほぼ毎日のように
		○	② 数日に1回程度
			③ たまに
			④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		① 大いに増えている
		○	② 少しずつ増えている
			③ あまり増えていない
			④ 全くない
66	職員は生き活きと働けている		① ほぼ全ての職員が
		○	② 職員の2/3くらいが
			③ 職員の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う		① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
		○	③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う		① ほぼ全ての家族が
			② 家族の2/3くらいが
		○	③ 家族の1/3くらいが
			④ ほとんどいない